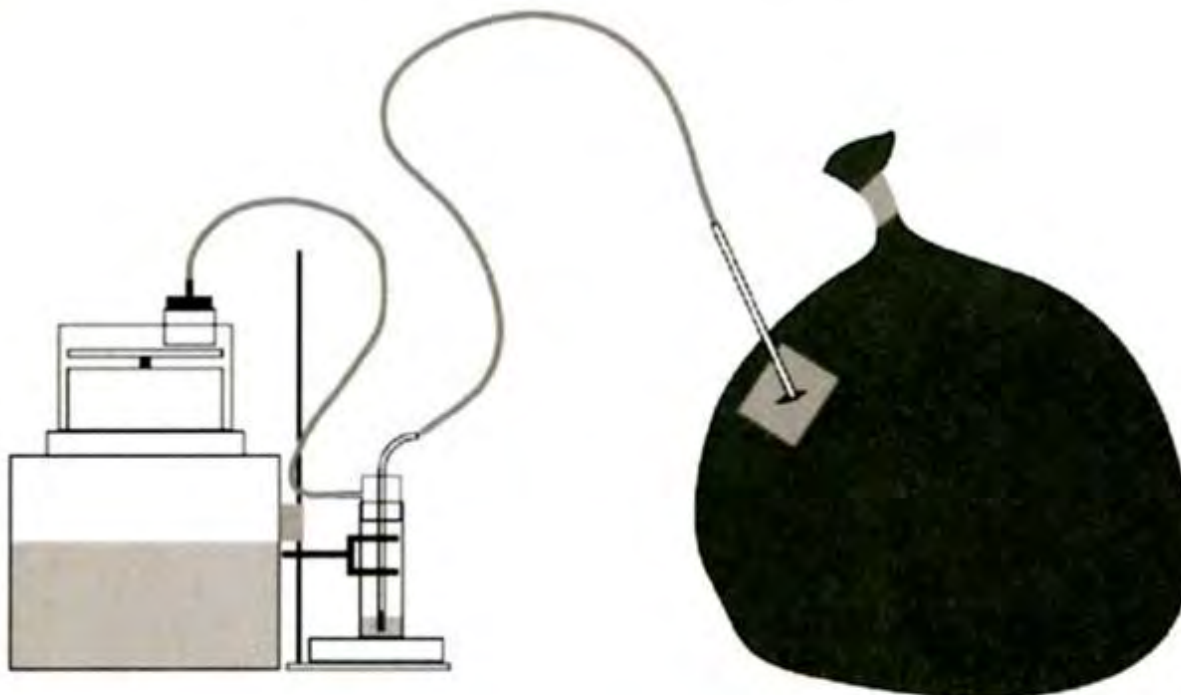


壁はビニール等で覆い、あとから建物をクリーニングしやすいようにする。作業にあたる人はレベルAに匹敵する重装備である。



Liquid impinger; critical orifice ca. 12 L/min

空気中の粉塵を採取する装置があり、これでドラム缶から炭疽菌を含むかもしれない粉塵を収集し、スクリーニングする。1日で、インピンジャーで回収できるであろう。培養に2日あれば十分。実際 FBI はこの作業を3日で終わらせた。

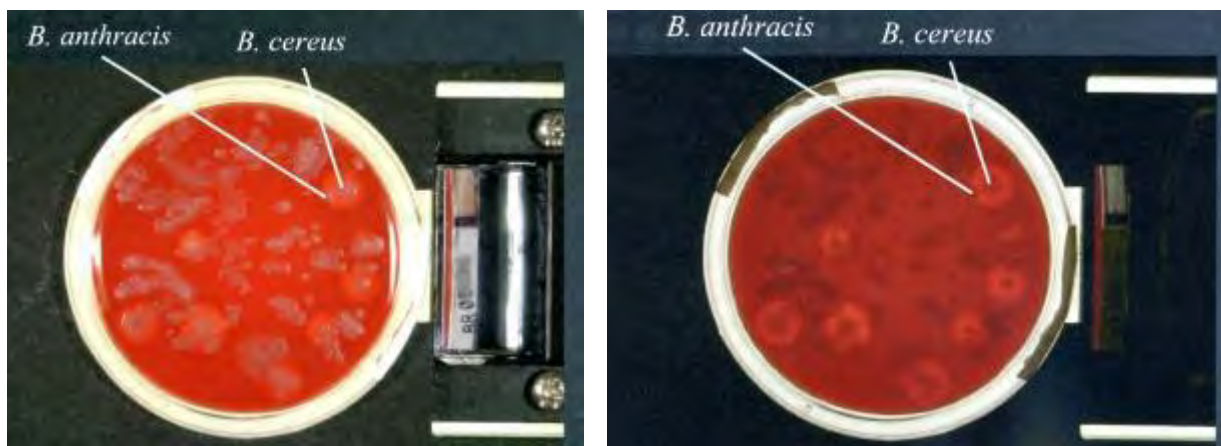
汚染のひどいもの、人の鼻前庭などは綿棒でぬぐい培養プレートに蒔けばよい。



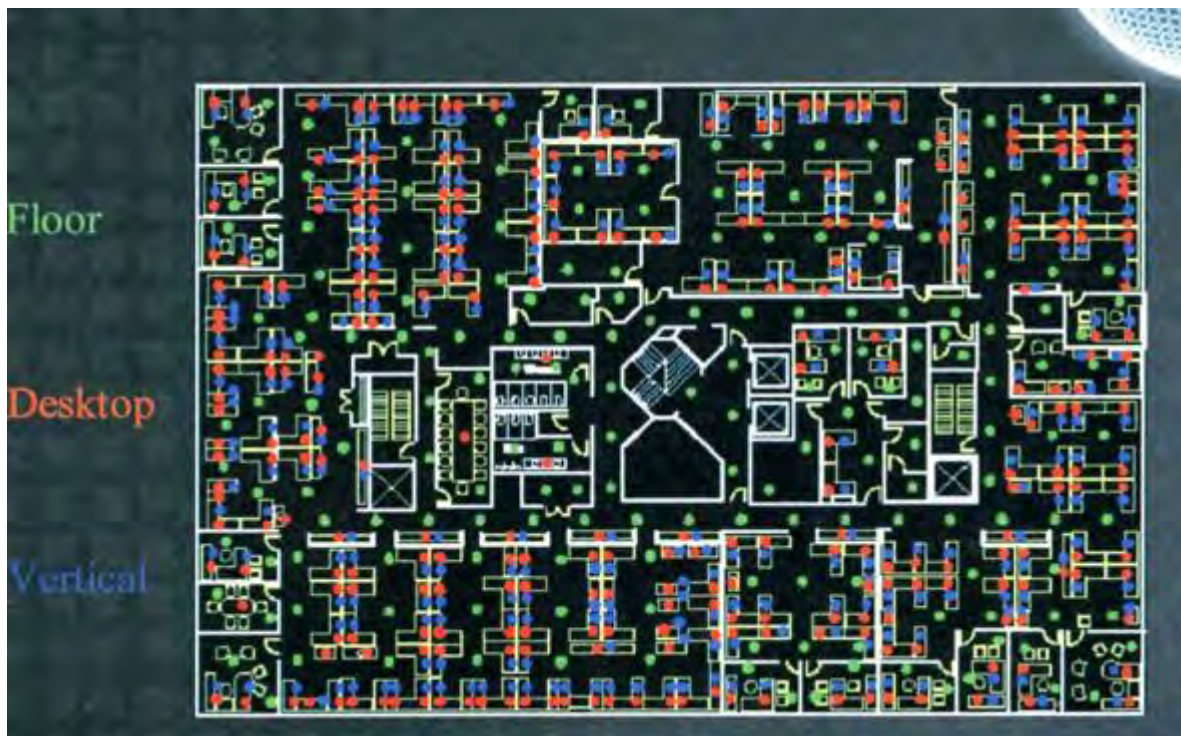
0. 床や壁などの場合にはどうしたらよいだろうか？



培養プレートの面を直接あてる。どこから採取したかは右写真のような機器を使ってタグをつけていくと効率的かもしれない。



他の菌と炭疽菌を効率的に分離しなくてはならない。下から光を当てると判りやすい。



汚染された部屋のチェックは上の培養プレートを使い、「全体的にランダムに」を方針として行なう。上図では床（緑）、机（赤）、柱（青）。

<パトリック・レイイにあてた手紙の中から大量の炭疽菌が検出された>

11月12日（月）5時、嚴重にテープで巻かれたあやしい手紙を発見した。10月9日トレントン 消印の、ダッシュルへの手紙のような手書きの上院議員のパトリック・レイイにあてられたものだった。送り主はダッシュル の手紙のように小学校であった。中にはかなりの炭疽菌が入っていた。



この手紙は注意深く分離され、科学者の手に渡った。FBI は最初 23000 の炭疽菌が含まれていた事を公表した。さらに2週間後、兵器の専門家は、「議会に送られた炭疽菌は非常に細かい粒子でできており、1グラムあたり1兆個の炭疽菌を含み、1万の炭疽菌吸入が致死量だとすると、1兆個で1億人の催殺量である」発表しなおした。エイムズ株として知られるこの株は、米国防衛研究所など国内のどこかからでたものと推定された。レーイはNBCの番組に出演し、彼に送られた手紙は「10万人を殺すに足る量の炭疽菌が含まれていた」と述べた。

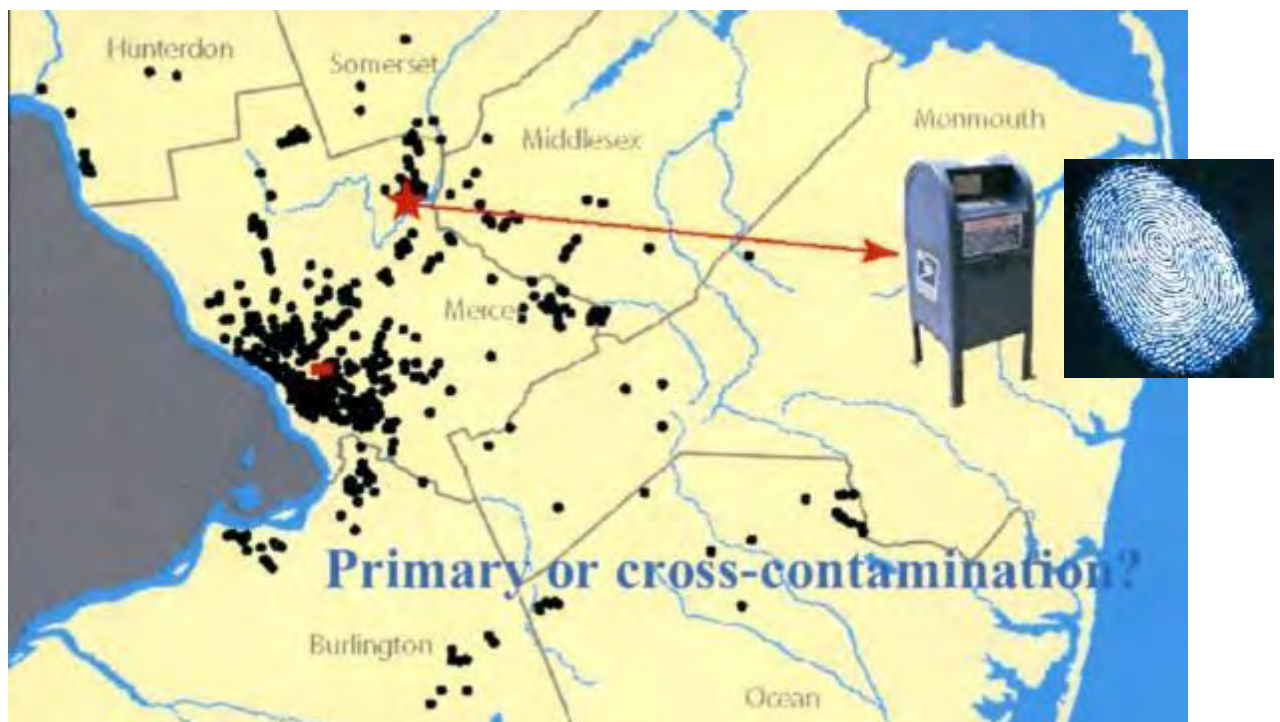
いずれにしても、米国議会の壊滅させることを狙ったテロであったことがはっきりした。このレーイに宛てた手紙がなぜ議会に届かなかったかという点、郵便番号が違っており、届くのが遅れたために封印された状況になったのだ。犯人のわずかな計算ミスが幸いしたのだ。逆に、これが犯人の予定とおりにいっていたら、大変なことになっていたであろう。少なくとも、9.11と比較すると、その後の炭疽菌テロは小さく取り上げられることが多い。しかし、実際には9.11と同等以上のインパクトのある出来事だったのではあるまいか？

政府系機関、民間企業、科学者、いずれの立場でも、本事例から学ぶべき点は多い。

<犯人逮捕に向けて次に何をすべきか？>

Q. あなたは FBI 大量破壊兵器部門のディレクターである。犯人が次のバイオテロを起こす前に犯人を逮捕しなくてはならない。次に何をしなくてはならないか？

A. トレントンの投函先を同定し、そこから指紋を採取する。

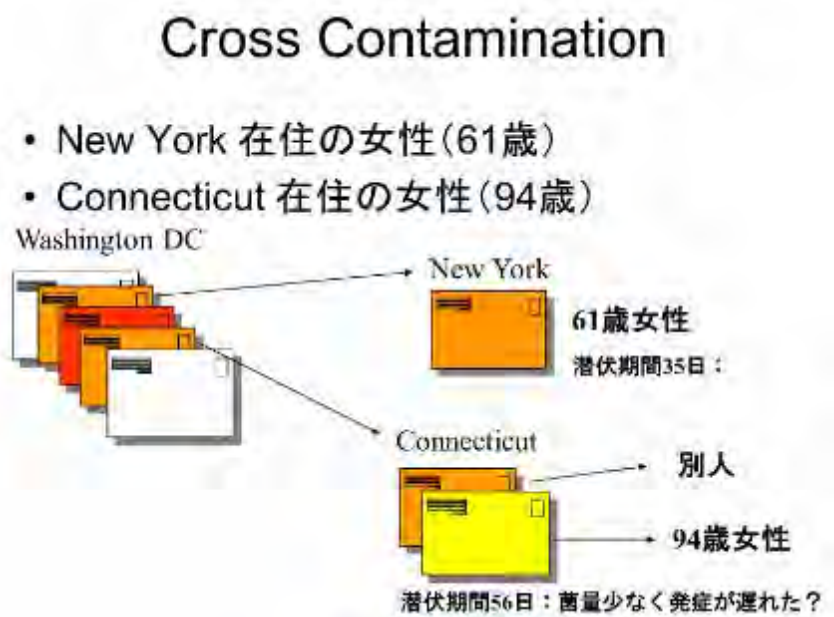


トレントンの消印が押される郵便ポストは全部で 628 ある。FBI はこれをくまなく調べた。方法は先の培養プレートを使うもの。なんと 627 の郵便ポストは全部白だった。彼らも半ばあきらめかけたであろう。しかし、628 番目の郵便ポストから炭疽菌が検知されたのだ。FBI はそこから指紋を採取した。そして炭疽菌を含む郵便物の指紋と一致することを確認し、単独犯と推定。最終的に「2001 年 9 月、米国市民はアメリカ陸軍伝染病医学研究所 [the United States Army Research Institute for Infectious Diseases (USAMRIID)] の 1 人の職員が生物兵器として入手した」と結論。しかし、この職員は起訴される前に自殺したため、真実は不明。

11 月 16 日、コネチカット州オックスフォードに住む 94 歳女性が発熱、咳、筋肉痛が 3 日前からあるとして地域の病院を受診した。悪寒、頭痛、鼻炎、嘔吐、下痢、腹痛、胸痛はない。慢性閉塞性肺疾患、高血圧、腎機能障害がある。入院時体温 39.1 度、脈拍数増加、動脈血酸素分圧低下 (93%) であった。敗血症および尿路感染の疑いで入院。11 月 17 日、培養の結果、血液と尿からグラム陽性桿菌が検出された。抗生剤をペニシリン系に変更したが、11 月 21 日に呼吸不全のため死亡。この犠牲者は最近 3 週間、特別なところに行くことはなかったという。

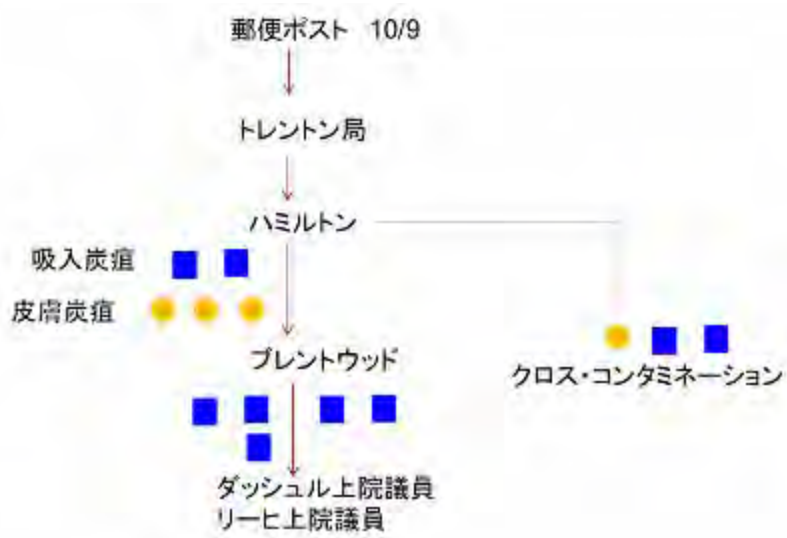
<郵便事業とはまったく関係のない女性が、かなり遅れて発症した。どう説明するか？>

Q. どのような感染経路を考えるか？



A. 郵便事業とはまったく関係のない女性が、かなり遅れて発症した。ニューヨーク在住の 61 歳女性は、ワシントンで炭疽菌を含んだ郵便と隣り合わせた郵便を受け取ったのかもしれない。さらに、コネチカット在住の 94 歳女性に関しては、その隣り合わせた郵便にさらに隣り合わせた郵便を受け取ったのかもしれない。しかし、他にも多数がこのようなクロスコンタミネ

ーションを起こした郵便を受け取っているはずであるが、発症しなかったのは何故かなど疑問は残る。



第二波は、第一波より精度よく兵器化された炭疽菌が用いられた。犯人は同じトレントン局管轄の郵便ポストに投函。今度はあまりに粒子が小さかったため、封筒の小さなメッシュをすり抜け未開封でありながら、そこから炭疽菌が漏れてしまったのである。

<炭疽菌のテロの結果である。あなたはこの結果をどうみるか？>

ANTHRAX TABULATION

(MMWR 11/9/01:50:973)

Cases:

Confirmed	18
Cutaneous	7
Inhalation	11
Deaths	5
Suspected	5

Exposures (positive nasal culture or serology) 37

No. receiving prophylactic antibiotics 32,000

A. 結局、11人が吸入炭疽に罹患し、5人が死亡（致死率45%）。皮膚炭疽は7人、確定例は7人で死者はなし。鼻前庭のスワブテストで陽性だったものは37人。シプロキササンなどの暴露後予防内服した人数は約32,000人。この中から炭疽菌感染症を発症したものはいなかった。

実際、予防内服しなかった場合のデータが無いので何とも言えない部分はあるが、このことは暴露の可能性が少しでもある人は抗生剤の予防内服するべきであろう。

2. スベルドルフスク

1979年4月10日、インフルエンザ様疾患＋肺炎で死亡した患者の病理解剖が行われた。その際、肺とリンパ節に出血があるのを確認。その後、炭疽菌が原因であることを発見。類似剖検例を再検討したところ、全てが吸入炭疽であると確認された。

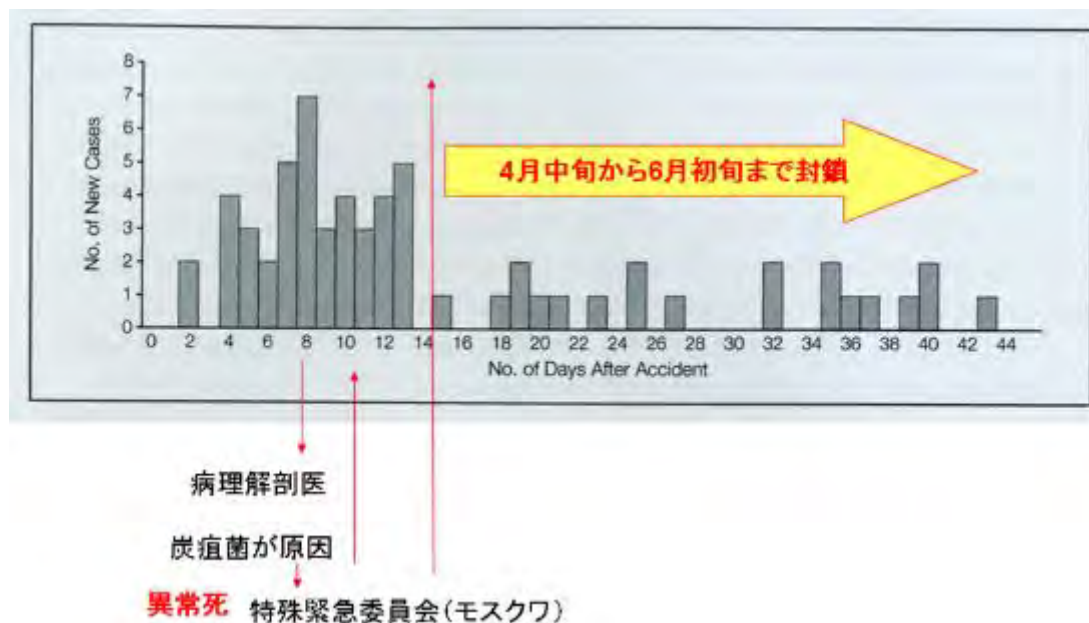
モスクワで、この危機的状況に対処するべく特殊緊急委員会が結成された。軍幹部を含む政府高官がスベルドルフスクに数日以内に到着し、市を4月中旬より6月初旬まで封鎖した。スベルドルフスク住人には、闇市での腐敗肉による感染症が原因であったと公表し、炭疽菌という言葉は一切使わなかった。一方で、一部の家族は隔離、軍隊がビルや木を焼き払う、ブルドーザーで表面の土は取り除かれ、道は一晩で舗装。医療チームは消毒した台所や寝室からサンプルを回収し、予防用抗生剤を配給。感染者は地域病院に収容。ICU および感染病棟のベッドは500にのぼった。死亡患者を漂白粉で覆い、プラスチックシート内に収容し警察警備のもと焼き払われた。

CIAは、衛星による監視により、スベルドルフスクに生物兵器工場が存在することを数年前から気が付いており、衛星が、人々が町を消毒したり、舗装道に換える様子を写真に捉えたことから、何らかの事故が発生したことをとらえていた。ソビエトの軍幹部、保健省、疫学者が緊急にスベルドルフスクを訪れているという情報を入手していた。アメリカはソビエト軍の事故に対する反応を電子情報より傍受していた。CIAは1979年10月までに諸情報よりスベルドルフスクの生物兵器工場において事故があったことをほぼ掌握していた。1980年3月、カーター政権中枢は事の重大性からこれ以上問題を指摘しないわけにはいかないとカーター大統領に進言。カーターもこれに同意し、1980年3月17日にモスクワに対してスベルドルフスクで発生した病気に関する説明を求めた。1980年3月20日、ソビエト外務省はスベルドルフスクの事故について「闇市の肉が炭疽菌に汚染されていたことが原因」と説明した。

1992年1-2月にアメリカ国連で安全保障サミットが行われた際、エリツィン大統領はジョージ・ブッシュ大統領に対して「スベルドルフスクの事例は生物化学兵器工場における事故であり、1972年の生物兵器禁止条約に違反していたことを認めた。その後エリツィンは生物兵器プログラムについて明らかにし、同年4月11日には1972年の生物兵器禁止条約を遵守することを再度宣言した。

先のロシア政府の態度軟化によりハーバード大学分子細胞生物教授のメセルソン博士が現地調査に入った。その結果患者発生は1979年4月4日から18日の間にみられ、消化管炭疽が79例、皮膚炭疽が17例にみられた。消化管炭疽では64人が死亡し致死率は81%。皮膚炭疽で死

亡したものはいなかった⁴⁰⁶。



Q. 炭疽菌の感染源が単一で、0日目に終わっているとすると、潜伏期間はどれくらいか？最小最大で回答せよ。生物兵器として開発された炭疽菌による感染症の事例はスベルドルフスクが唯一である。あなたは2001年に発生した炭疽菌郵便テロをCDCで担当し、シプロキサンの予防投与期間を決めなくてはならない。何日にするか？

A. 2日～41日。潜伏期間の幅は広い。炭疽菌の生態から考えると、芽胞から発芽して桿菌の形態をとれば抗生剤に感受性であろうが、芽胞の状態では無効かもしれない。潜伏期間に幅があるということは、発芽する時期にも幅があるということだろう。そのように考えると少なくとも潜伏期間はカバーするようにすべき。実際には予防内服期間は60日とされた。

患者（左：赤い数字は炭疽菌患者の発生場所を示している）および動物（右：A～Fは動物の炭疽菌死亡の場所が示してある）の発生。

Q. 特徴を述べよ。

地域の風向きに関する情報を下に示す。エリツィン大統領が述べたように「スベルドルフスクの事例は生物化学兵器工場における事故であった」として、何が起こったかを説明せよ。

A. 生物兵器工場の換気扇より兵器化された炭疽菌がもれた。そのときの風向きが北西であると患

⁴⁰⁶ Meselson M, Guillemin J, Hugh-Jones M, Langmuir A, Popova I, Shelokov A, Yampolskaya O. The Sverdlovsk anthrax outbreak of 1979. Science. 1994 Nov 18; 266(5188):1202-8.

者および動物死の発生場所を矛盾なく説明できる。北西の風が吹いたのは4月2日午前10時であった。風速は5.5m/秒、時速20km。アメリカに亡命したケン・アリベックの著書「バイオハザード」の「1979年4月2日(月)、6-8時、技術員は通常通り作業を始めた。金曜職員が乾燥・製粉機の排気システムにおけるフィルターを取り外した。その後新しいものを取り付けるのを忘れていた。そのため、月曜朝、炭疽菌は工場から町へリークしたものと想定される。」という記述と矛盾しない。それにしても、炭疽菌は風によって数十キロ先の動物まで殺傷し得ることは驚きである。

3. オウム真理教による炭疽菌テロ未遂事件⁴⁰⁷

1993年6月29日東京都江東区亀戸の住人5人が悪臭を訴えた。調査によりオウム真理教の8階立てビルが発生源であると判明。当時、教団を脱走した数名の信者を誘拐(奪還)した容疑をかけられていた。しかし確たる証拠が無い状態で、そのためオウム真理教の活動は何ら制限されていなかった翌30日、悪臭による食欲減退、嘔気、嘔吐の訴えは41人にのぼった。(保健所職員?)は、内部調査を申し出るが、オウム真理教に断られる。そのため、職員はビルの周辺、空気サンプル、ビル周辺の状況を調べたが悪臭以外の迷惑行為は認められなかった。7月1日、近隣住人はビルの屋上にある貯水タンクから間歇的に霧状のものが出ていると報告。

7月2日、地域住人、その多くはビルの南側に居たが、で悪臭を(保健所に?)訴えたものは118名に達した。

夜中軽い雨が降る(合計7mm, 1mm/hr, 1-7AM)

風: 午前: 北北東から北東(2-4m/sec)

午後: 北東から東北東

気温: 最高16.9度(3AM)

最高19.9度(3PM)

天気: 雨/曇 日光は注がず

同日地域住人がゼラチン様の灰色から黒の油様物質をビルの壁から採取した。これは屋上の冷却塔から散布されたものと思われる。保健所職員はこの物体を採取し、1999年の検査まで4度の冷蔵庫に保存した。地域住人が苦情を言い、オウム真理教麻原彰晃を介して7月2日、屋上からの散布は停止された。7月16日、事務員が立ち入り調査に入ったときには既に壁に黒いものが残留する以外、何も残っていなかった。1996年3月23日、亀戸事件の真相はオウム真理教が裁判にかけられ、はじめて明かされたことである。そのため、亀戸のケースに警察は介入していない。オウム真理教信者の証言によれば、亀戸事件の悪臭は、吸入炭疽の流行をもたらすために炭疽菌が増殖した培養液をエアロゾル化させる際に発生したものだという。彼らは、この炭疽菌流行が世界戦争へと発展し、やがて麻原の支配する世界へと導かれると信じていた。

⁴⁰⁷ Takahashi H, Keim P, Kaufmann AF, Keys C, Smith KL, Taniguchi K, Inouye S, Kurata T. Bacillus anthracis incident, Kameido, Tokyo, 1993. Emerg Infect Dis. 2004 Jan; 10(1): 117-20.

Q. 何故警察は介入しなかったのだろうか？信者の証言を受けて何をすべきか？

A.

1. 悪臭のみで、傷害事件などに進展していないため、せいぜい保健所職員が介入する程度。
2. 冷蔵庫に保存されてある検体を念のため培養する。

亀戸で異臭が発生した際の疫学調査はなされていない。炭疽菌の粉自体無味無臭であり、そのとき誰も異臭の中に炭疽菌が含まれていたとは知らなかった。

1999年11月、保存されていた灰色から黒のゼラチン様物質 2.6ml を北アリゾナ大学に輸送した。一部を羊赤血球の培地に蒔いて、一晚 37 度で培養したところ、様々な細菌がコロニーを形成した。その中のおよそ 10% が炭疽菌を示唆していた。疑われたコロニーは、非溶血性で、表面は灰白色ガラスのようであった。1 ml あたり、炭疽菌疑いのコロニーは 4 千形成された。炭疽菌疑いのコロニー 48 個を選別し、再び別の培地で増菌した。その後、multiple-locus, variable-number tandem repeat analysis (MLVA) にかけて。PCR に用いた 8 つの部位はいずれも炭疽菌に特異的なものであった。そのパターンからは、動物用炭疽菌ワクチン株 Sterne 34F2 で、日本では商業ベースで扱われるものであった。

10月12日、フロリダのケースが孤発例ではないことが判明した。同日、NBC News の Tom Brokaw のアシスタントである Eric O' Connor 38 歳は皮膚炭疽と診断された。翌週、プロデューサーの 7 ヶ月の子供が皮膚炭疽であることが判明した。10月18日、CBS News の Claire Fletcher が炭疽菌テスト陽性、10月19日、New York Post の編集部アシスタントの Johanna Huden も皮膚炭疽となった。

4. 教訓：兵器化された炭疽菌は数 10 km 以上飛散し得る

スベルドルフスクの事例より風が強い日であれば兵器化された炭疽菌は数 10 km 以上飛散し得ることが証明された。花粉や黄砂が大陸から日本に飛来し得ることを考えると海外からの影響もあり得る。

第 8 章 化学テロ：2 つのサリン事件－松本サリン事件と地下鉄

サリン事件についてー

第1節 前 言

平成6年6月27日及び平成7年3月20日は、我が国のみならず全世界が驚愕したサリン事件発生の日である。松本サリン事件では第1通報者である河野氏が重要参考人（犯人の可能性が高い）として扱われ世間の耳目を集めたが、その一方で実施すべき防護対策は後手に回り、結果として地下鉄サリン事件において多くの被害者が生起することとなった。

松本、地下鉄両サリン事件に麻原を始めとするオウム真理教幹部が関わったとして殺人などの罪に問われ、死刑が確定した教団元幹部ら6人の刑が平成30年7月26日に執行された。松本智津夫元死刑囚（教祖名・麻原彰晃）を含む7人の刑は同年7月6日に既に執行されており、教団による一連の事件で死刑確定した13人全員の死刑が執行されたことになる。

オウム真理教幹部による一連の事件、特に地下鉄サリン事件は世界を震撼させ、判決で認定された死者は計27人、起訴後の死亡者などを含めた犠牲者は29人に上り、国は6500人以上の被害者を確認している。だが、教団が数々の凶行に手を染めた背景が裁判で完全に明らかになったとは言い難く、何故彼らがあのような凶行に走ったのか、その真相を知る機会は主要幹部の死刑執行によって永久に失われた。教団は組織を武装化しテロまで企てたが、そのような組織に医師や大学院生などのエリートを含め、多くの若者が傾倒し身を投じたのはなぜなのか。宗教という名のもとに謎や疑問が解消されないまま事件の再発防止を確立することは困難を極める一方、多大な犠牲を払って得た教訓は後世まで継承しなければならない。だが、一連の事件を経て教訓と言えるものが明確になったのであろうか。国は、現在服役している元信者の証言を得るなどして当該事件の検証を行う責務を有する。実行犯の死刑執行で全てが終わるとしたならば事件は風化の一途をたどることとなる。是非とも真実に近づくための調査を別途実施すべきと考える。

ここでは、松本サリン事件及び地下鉄サリン事件についてその概要を説明するとともに、事件の裏側で何があったのか、筆者の経験や過去収集したサリン事件関連の著書、関係者の手記等を基に私見を述べる。本稿が今後の化学テロ対策の一助となれば幸甚である。

第2節 平成6年～7年の時代背景

松本サリン事件、地下鉄サリン事件が発生した平成6年～7年当時の時代背景はどうであったのか。事件当時の政治、経済、主要事象等から当時の時代背景を見てみたい。

1. 政治

当時は自社さきがけの連立政権であり、首相は細川護熙（1994年4月8日退陣表明）、羽田孜（1994年4月28日以降）、村山富市（同年6月30日以降）となり、村山政権下で副総理（外務大臣兼務）が自民党総裁の河野洋平氏という体制にあった政治基盤は脆弱であり不安定な政権運営を取らざるを得ない状況にあった。また、平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災及び3月20日に発生した地下鉄サリン事件は、「安全な国日本」とした国民の信頼感を失い、長引く経済不況と相まって1996年1月の村山首相の電撃的な退陣につながる事となった。

2. 経済

平成6年～7年当時の経済は、不動産業界をはじめとするバブル景気が破綻し、長く続いた不況からようやく回復の兆しが見えてきた一方、不動産を担保に多額の融資を行ってきた銀行業界は、多額の不良債権を抱え、一部の銀行は経営破綻に陥る等、「経済は一流」と言われた日本経済の大きなほころびが顕在化した時期でもあった。

3. 防衛省・自衛隊に係る主要事象

平成6年～7年における防衛省・自衛隊（平成7年当時は防衛庁）主要な事象として忘れてならないのは、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災である。この災害において死者5500名、重傷者1819名、軽傷者25029名（1995年5月時点：気象庁発表）発生し、初めて「トリアージ」という概念が取りざたされ、DMAT（災害派遣医療チーム）の導入の契機となった災害であり、災害派遣に従事した自衛隊に対し初動の遅れに対する批判が集まった災害でもあった。

災害派遣は、基本的に災害派遣要請権者からの要請に基づき実施するものであるが、要請を受けるいとまのない場合においては要請受権者の判断により自主派遣を行うことが法的に認められてはいるものの、当時の中部方面総監松島氏の回顧によれば、被災の中心であった兵庫県では社会党党首土井たか子の地盤という特殊性もあり、自衛隊の派遣活動自体を拒む風潮が強い地域性があったことは否めなく、兵庫県からの災害派遣要請が発出されたのは午前10時であったと記録されている。また、地下鉄サリン事件においても都知事の災害派遣要請は、12時50分と記録されている。現在では緊急時の活動に対する国民の理解が進み平時から地域防災活動に自衛隊が参加、相互理解が促進され、緊急時における自衛隊の活動を批判するという風潮は払拭されつつある。

4. 化学兵器禁止条約批准と陸上自衛隊化学科職種

化学兵器禁止条約は、化学兵器の製造、所持、譲渡し及び譲受けを禁止するとともに、特定物質の製造、使用等を規制する等の措置を講ずることを目的とし、1997年に発効、我が国は

1993年に署名、1995年9月に批准しているが、1994年は、化学兵器禁止条約批准に係る準備の最終段階時期として化学兵器禁止法（正式名称：化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律（平成7年4月5日法律第65号））の制定に向け、水面下において陸上自衛隊化学学校を国が認める特定施設（特定物質（条約上の表1剤）等を取り扱うことのできる施設）として指定するための根回しが行われていた時期であり、一方において陸上自衛隊内において化学科職種廃止の動きがあった時期でもあった。

松本サリン事件及び地下鉄サリン事件は、化学兵器禁止法制定にあたり陸上自衛隊化学学校を特定施設に指定する水面下の動きの中で発生した事件であったこと及び地下鉄サリン事件における化学科部隊の活動により職種廃止の動きがなくなったことは不可思議な偶然の一致といえよう。

第3節 オウム真理教とは

まず、オウム真理教はどのような形で設立され、拡大し、そして犯罪集団と変貌していったのか。その沿革を2021年公安調査庁資料「国際テロリズム要覧」から主要な事項を抜粋して概観する。

年月日	主要テロ事件、主要動向等
84. 2. 14 87. 7 中旬	「オウム神仙の会」設立 「オウム神仙の会」を「オウム真理教」に改称
89. 7 89. 8. 25 89. 11. 4	山梨県西八代郡上九一色村（にしやつしろぐんかみくいしきむら）（現南都留郡富士河口湖町（みなみつるぐんふじかわぐちこまち））に「サティアン」と称する施設群（以下「上九施設」）の建設を開始（1999年5月頃まで） 東京都は、オウム真理教を宗教法人として認可 弁護士一家殺人事件 麻原の指示を受けた村井秀夫らが、団体に対して批判的な活動を行っていた弁護士一家を殺害することを企て、構成員が、弁護士方に侵入し、同人らの頸部を絞め付けるなどして窒息させて殺害
90. 2 90. 4 頃	衆議院議員総選挙に「真理党」として団体幹部ら25人が立候補したが全員落選 麻原が団体幹部らを集め、「今回の選挙の結果、今の世の中は、マハーヤーナで救済できないことが分かったので、これからはヴァジラヤーナでいく。現

	<p>代人は生きながらにして悪業を積むからポアする」などと発言（以降、団体が武装化を推進）</p>
93. 6. 28	東京・亀戸道場異臭事件（炭疽菌（たんそきん）の散布事件）
93. 7. 2	東京・亀戸道場異臭事件（炭疽菌の散布事件）
93. 8	上九施設にサリン製造実験を行う「クシティガルバ棟」を建設
93. 11 中旬	宗教団体関係者の関連施設周辺にサリンを噴霧（東京都八王子市内）
93. 12 中旬	宗教団体関係者の関連施設周辺にサリンを噴霧（東京都八王子市内）
94. 5. 9	<p>弁護士殺人未遂事件</p> <p>麻原の指示を受けた中川智正らが、団体に対して批判的な活動を行っていた弁護士を殺害することを企て、信徒が、同弁護士所有の自動車のフロントウインドーアンダーパネルの溝及びその付近にサリン溶液を滴下し、その後、同自動車を運転した同弁護士がサリン中毒症で負傷</p>
94. 6. 27	<p>松本サリン事件</p> <p>麻原の指示を受けた村井秀夫らが、長野県松本市北深志所在の駐車場において、サリン噴霧車に設置した加熱式噴霧装置を作動させてサリンを加熱し気化させた上、大型送風扇を用いてこれを周辺に発散させ、8人がサリン中毒で死亡、約140人がサリン中毒症で負傷</p>
94. 7. 10 頃	<p>構成員殺人及び死体損壊事件</p> <p>麻原の指示を受けた新實智光らが、スパイ容疑をかけた在家の構成員に拷問を加えたが、拷問を加えてしまった以上このまま生かしておく後々団体の発展にとって障害になるおそれがあると考え、上九施設において、同在家の構成員の頸部をロープで巻いて絞め付けて、窒息させて殺害。その後、死体をマイクロ波加熱装置、ドラム缶等を組み合わせた焼却装置（マイクロ波焼却装置）の中に入れ、これにマイクロ波を照射して加熱焼却し、死体を損壊</p>
94. 12. 2	<p>VX 使用殺人未遂事件</p> <p>麻原の指示を受けた新實智光らが、上九施設を抜け出した出家した構成員を匿い、同人に弁護士を紹介するなどした者を殺害することを企て、東京都中野区の路上において、注射器に入れた VX を後頭部付近に掛け、VX 中毒症で負傷させたもの</p>
94. 12. 12	<p>VX 使用殺人事件</p> <p>麻原の指示を受けた新實智光らが、在家の構成員の身辺調査の過程で不審人物として名前が挙がり、スパイ容疑をかけた会社員を殺害することを企て、大</p>

94. 12 末	<p>阪市淀川区の路上において、注射器に入れた VX を後頭部付近に掛け、VX 中毒により殺害</p> <p>サリンプラントがほぼ完成</p>
95. 1. 4	<p>VX 使用殺人未遂事件</p> <p>麻原の指示を受けた新實智光らが、団体構成員に対し脱会を促す活動を行っていた、オウム真理教被害者の会会長を殺害することを企て、東京都港区の路上において、注射器に入れた VX を後頭部付近に掛け、同会長が VX 中毒症で負傷</p>
95. 2. 28 ～ 3. 1	<p>公証役場事務長監禁致死事件</p> <p>麻原の指示を受けた井上嘉浩らが、東京都品川区の路上において、団体への出家を案じ身を隠した構成員の所在を聞き出すため、同構成員の実兄である公証役場事務長をワゴン車内に押し込んで、上九施設に連れ込み、意識喪失状態を継続させるため大量に投与した全身麻酔薬の副作用である呼吸抑制、循環抑制等による心不全により殺害</p>
95. 3. 20	<p>地下鉄サリン事件</p> <p>麻原の指示を受けた団体幹部 15 人が、いずれも東京都千代田区の営団地下鉄霞ヶ関駅に停車する日比谷線、千代田線及び丸ノ内線の各電車内等にサリンを発散させて不特定多数の乗客等を殺害することを企て、実行犯 5 人が各電車内において、サリン入りビニール袋を先端を尖らせた傘で突き刺し、サリンを流出気化させて発散させ、乗客ら 13 人がサリン中毒により死亡、5,800 人以上がサリン中毒症で負傷（オウム真理教犯罪被害者等を救済するための給付金の支給に関する法律に基づく給付金の支給時に認定された被害者数。なお、負傷者のうち 1 人が、2020 年 3 月、サリン中毒症による低酸素脳症で死亡。）</p>
95. 3. 22～	<p>警察は、上九施設を含むオウム関連施設を強制捜査</p>

95. 5. 5	<p>新宿駅青酸ガス事件</p> <p>井上嘉浩らが、団体に対する捜査をかく乱するため、繁華街の公衆便所内にシアン化水素ガス発生装置を仕掛け、同ガスによりその公衆便所内の利用者等を殺害することを企て、東京都新宿区の営団地下鉄新宿駅の公衆便所に備え付けられたゴミ容器内に、シアン化水素ガス発生装置を設置したが、同装置からの発火を目撃した者の通報で現場に臨場した同駅職員によって消火</p>
95. 5. 16	<p>都庁爆発物郵送事件</p> <p>井上嘉浩らが、東京都知事らを殺害することを企て、新刊書の内部をくり抜き、その中に、爆薬トリメチレントリニトロアミン（別名ヘキソーゲン）を充填して起爆装置を施したプラスチックケースを挿入した上、同書の表紙を開披することにより爆発するように仕掛けた手製爆発物を製造、これを封筒に入れて、知事公館宛て速達郵便物として投函し、都庁7階の知事秘書室において同郵便物を開封した都庁職員が左手全指挫滅切断等の負傷</p>
95. 5. 16	<p>麻原が殺人及び殺人未遂で逮捕</p>
95. 7. 4	<p>新宿駅青酸ガス事件</p> <p>平田悟らが、JR新宿駅及び地下鉄茅場町駅構内の便所にシアン化水素ガス発生装置を設置したが、新宿駅に設置した装置のみが若干作動して青酸ガスを発生させたものの実害は発生せず</p>
95. 12. 21	<p>「宗教法人オウム真理教」が解散登記</p>
96. 3. 28	<p>東京地方裁判所は、オウム真理教の破産を宣告</p>
96. 7. 11	<p>公安調査庁長官は、破壊活動防止法に基づき、本団体に対する解散指定処分を公安審査委員会に請求</p>
97. 1. 31	<p>公安審査委員会は、上記解散指定処分請求を棄却</p>
97. 10. 8	<p>米国国務長官は、「1996年反テロリズム及び効果的死刑法」に基づき、オウム真理教を外国テロ組織（FTO）に指定</p>
99. 12. 27	<p>公安調査庁長官は、同法による、本団体への観察処分を公安審査委員会に請求</p>
00. 1. 28	<p>公安審査委員会は、観察処分（3年間）を決定</p>
00. 2. 4	<p>「オウム真理教」が「宗教団体・アレフ」に名称変更</p>
00. 7. 1	<p>ロシア人構成員武器不法所持事件（シガチョフ事件）</p> <p>「麻原奪還」を目指し日本での連続爆破テロを企図したロシア人構成員のシガチョフら3人が、ロシア連邦保安庁（FSB）により武器の不法所持で逮捕</p>

01. 1. 23	ロシア連邦沿岸地方裁判所（ウラジオストク）は、シガチョフらに実刑判決（最高がシガチョフの禁錮8年）
02. 1. 30 02. 5. 2 02. 12. 10	「宗教団体・アレフ」の代表に上祐が就任 欧州連合（EU）は、テロと闘うための有効な手段の適用を定めた「2001/931/CFSP」（2001年12月27日採択）に基づくリストを更新し、「資金・資産の凍結」の対象とされるテロ関係者、団体のリストにオウム真理教を追加 カナダ政府は、国連安全保障理事会決議第1373号に準拠したテロ対策法に基づくカナダ刑事法典「テロ組織リスト」を作成したところ、「指定テロ組織」にオウム真理教を指定し、資金・資産の凍結措置を適用
03. 1. 23 03. 2. 6 03. 7. 2	公安審査委員会は、本団体に対する観察処分の期間の更新を決定 「宗教団体・アレフ」が名称を「宗教団体アーレフ」に変更 オーストラリア政府は、国連安全保障理事会決議第1373号に準拠した「国連憲章（テロリズムと資産取引）に基づく規則2002」（以下「2002年規則」）を制定し、オウム真理教に対し、資金・資産の凍結措置を適用
04. 2. 27	麻原に死刑判決（東京地方裁判所）
06. 1. 23 06. 9. 15	公安審査委員会は、本団体に対する観察処分の期間の更新（2回目）を決定 麻原の死刑判決が確定
09. 1. 23	公安審査委員会は、本団体に対する観察処分の期間の更新（3回目）を決定
12. 1. 23 12. 6. 15	公安審査委員会は、本団体に対する観察処分の期間の更新（4回目）を決定 警視庁は、地下鉄サリン事件等に関与したとして特別手配されていた高橋克也を逮捕
15. 1. 23 15. 1頃	公安審査委員会は、本団体に対する観察処分の期間の更新（5回目）を決定 「山田らの集団」が、「Aleph」から一定の距離を置いて活動を開始
16. 9. 20	ロシア連邦最高裁判所は、オウム真理教をテロ組織と認定し、オウム真理教の同国内における活動を禁止
18. 1. 22 18. 1. 26	公安審査委員会は、本団体に対する観察処分の期間の更新（6回目）を決定 高橋克也の無期懲役判決が最高裁で確定。オウム真理教関連事件に係る裁判が終結